

# 春未だ浅き

(昭和十二年第三十回記念祭歌)

平城鷹雄君 作歌  
穴戸昌夫君 作曲

一

春未だ浅き白楊の  
雪解の小路たたずめば  
しばし聞けとて私語の  
木の間もれくる夕嵐

二

あはく足げに咲き出でし  
おぼろおぼろの水芭蕉  
なつかしの原始杜肩とりて  
楳火をめぐり歌はなん

三

長髪頬に戯むれて  
昔変らぬ風なれや  
今したたへん三十回の  
青史をかざす記念祭

四

美酒の夜は更け行けど  
尽きぬ男子の黒潮を  
契の杯に汲み交はし  
常縁を祝ふ自治の宴